

議会だより

No. 159

2012
FEBRUARY

目次 CONTENTS

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ◆12月定例議会で決められた概要…………… 2～3 | ◆一般質問…………… 6～13 |
| ◆意見書の提出…………… 4 | ◆委員会研修レポート…………… 14 |
| ◆平成23年度補正予算…………… 5 | ◆その他…………… 15 |

新たな行政組織再編の 関係条例可決!

12月
定例議会

平成23年第5回定例議会は12月9日に招集され、12月15日までの7日間の会期で開かれました。

今回の定例議会は、町長から提出された条例の制定・改正11件、規約の変更1件、人事案件1件（教育委員会委員の任命）及び補正予算5件の18議案が上程され、いずれの議案も原案のとおり（2議案は採決・3頁参照）決まりました。

また、総務常任委員会に付託された陳情1件は採択に決まりました。

最後に、議員から提出された条例の改正1件及び意見書1件について採決が行われた結果、いずれも全会一致で可決しました。

常任委員会における閉会中の継続調査では、榆井教育民生常任委員長から、体育施設及び社会教育施設の運営に関する事項等の調査結果報告がされました。

条例

部課設置条例の制定、公共料金 審議会条例の改正、水道事業の 設置等に関する条例の改正

平成24年4月1日から新たな行政組織再編として、組織の統廃合による合理化、政策調整機能の強化、消防防災機能の強化、窓口での利便性の向上、協働のまちづくりの推進と町民生活関連業務の一元化及び子育て環境の充実と支援を図るための関連条例の制定・改正を全会一致で可決しました。

自転車等駐車場設置、管理及び 使用条例の制定、自転車等の放 置の防止に関する条例の制定

平成24年4月1日から安塚駅西口広場隣接の自転車駐輪場を有料駐車場として管理するもの（採決による可決）。また、自転車等の放置禁止及び規制区域を設定して歩行者の安全確保並びに景観環境の保全を図るため、現在、おもちゃのまち駅周辺だけされている規制区域を他の3駅を加えるための現行条例の全部改正を全会一致で可決しました。

消費生活センター条例の制定、 特別職の職員で非常勤のもの 報酬及び費用弁償に関する条例 の改正

専門的な知識を有する相談員を置く消費生活センターを設置し、消費生活相談員の報酬額を決める条例の制定・改正を全会一致で可決しました。

授産施設設置及び管理条例の 改正

障害者自立支援法の施行の関係から、就労に向けて必要な訓練等を提供する施設から生活介護や自立訓練・就労支援などの日中活動系サービス提供施設へ移行するための改正を全会一致で可決しました。

下水道設置条例、下水道条例、 水道事業給水条例の改正

わんぱく公園を事業認可区域に編入した関連で、わんぱく公園汚水幹線を追加する改正。適正な経費負担を前提とした独立採算性を図ることから、下水道使用料の改定（採決による可決）、水道料金の基本水量を廃止し水量に応じた料金体系等とする改正を全会一致で可決しました。

その他

事務組合規約等の変更

平成24年4月1日から関係事務組合等における公務災害補償事務を共同処理するため、栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数を増加し、栃木県市町村総合事務組合規約の変更を全会一致で可決しました。

人事案件

教育委員に大久保氏を任命

平成24年1月21日に任期満了となる佐藤郁夫氏の後任として大久保信男氏（壬生町安塚）の選任に同意しました。



大久保 信男氏

陳情の審査結果

(12月定例議会で、審査の終了した陳情は次のとおりです。)

○採択になったもの

陳情第2号 速やかな取調べの可視化（取調べの全過程の録画）の実現を推進する意見書採択の陳情書

提出者・・・宇都宮市小幡二丁目7番13号
栃木県弁護士会 会長 横山幸子

賛否の公表

平成23年第5回壬生町議会定例会 重要案件の採決結果

※細井敬一議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	赤羽根信行	河野辺恒雄	小牧敦子	坂田昇一	玉田秀夫	田村正敏	中川芳夫	市川義夫	鈴木理夫	榆井聰	大島菊夫	落合誠記	佐藤善光	高山文雄	小貫暁	細井敬一	賛成	反対
4号	壬生町自転車等駐車場設置、管理及び使用条例の制定について	12月9日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	-	13	2
10号	壬生町下水道条例の一部改正について	12月9日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	14	1

多：賛成多数（可決） ○：賛成 ×：反対

意 | 見 | 書 | の | 提 | 出

12月定例議会において、議員提出の意見書を
1件可決し、関係機関へ提出しました。

速やかな取調べの可視化（取調べの全過程の録画）の実現を推進する意見書

提出者	壬生町議会議員	佐藤善光
賛成者	壬生町議会議員	赤羽根信行
	〃	落合誠記
	〃	鈴木理夫
	〃	小牧敦子

2009年（平成21年）5月に、市民が刑事裁判に参加し、裁判官とともに被告人を裁く裁判員裁判が開始された。この制度は、法律の専門家ではない市民が裁判員として裁判に参加することで、裁判に健全な市民感覚及び社会常識を反映し、もってその内容を適正化することが期待されている。

裁判員である市民の意見を最大限反映し、裁判員裁判を円滑に実施するためには、裁判が市民にとって分かりやすいものである必要がある。裁判で供述調書の任意性や信用性が争われたような場合でも、裁判員がその判断に窮することがないように、適切な方策が講じられなければならない。

このような見地から、取調べの可視化（取調べの全過程の録画）は不可欠なものである。なぜなら、取調べを全て録画することで、取調べの状況が検証可能となり、これにより初めて裁判員が供述調書の任意性や信用性の判断を容易に、かつ正確になしうるようになるからである。

また、取調べの可視化は、これを行うことで、密室での取調べに伴って発生する捜査官の暴行・脅迫・利益誘導等による自白強要や虚偽自白とともに、氷見事件や志布志事件、足利事件に代表されるように現在も後を絶たないえん罪を防止することができ、被疑者・被告人の人権保障を図る上でも不可欠なものである。

現在、検察庁では、裁判員裁判対象事件につき、検察官の裁量により取調べの一部の録画が行われており、また、警察庁でも一部録画の試行がなされているが、すでに裁判員裁判が実施されていることも踏まえて、速やかに取調べの全過程の録画を行い、取調べの可視化を実現していくことを要望します。

補正予算

(平成23年12月定例会可決)

(単位:千円)

会計名等		補正額	補正後の予算	補正の主な理由	
一般会計		37,798	12,737,552	事務事業の精査による過不足、国県補助事業の確定によるもの、施設管理運営のため緊急を要する修繕などの対応によるもの。	
国民健康保険		805	4,744,160	共同事業交付金の見直し、国県負担金の交付決定によるもの。	
公共下水道事業		32,200	1,182,325	消費税額の確定、施設管理上緊急を要する費用などによるもの。	
後期高齢者医療		10,819	287,064	事業実績の確定によるもの。	
水道事業	収益的	収入			
		支出			
	資本的	収入	503	313,222	国庫補助金の第3次補正によるもの。
		支出	5,500	596,345	国庫補助事業、みぶ羽生田産業団地関連事業によるもの。

11月
臨時議会

平成23年第4回臨時議会は11月29日に招集され、1日間の会期で開かれました。

今回の臨時議会は、町長から提出された条例の改正1件の1議案が上程され、原案のとおり決まりました。

条例

町職員給与を減額

給与水準を民間の給与水準に均衡させることを基本とした人事院勧告の内容を踏まえ、月例給を主に50歳台を中心に、40歳台以上の中高年齢層を対象とした給料表の引き下げ改定をする条例の改正を全会一致で可決しました。

■ 落合 誠記 議員

- ①災害対策の更なる強化を求める
- ②子ども議会の検証—提起・提言をまちづくりに活かす
- ③福祉施設マネジメントを問う

■ 赤羽根信行 議員

- ①みぶ羽生田産業団地の進捗状況は
- ②町の道路整備について問う

■ 中川 芳夫 議員

- ①町のスポーツ振興について
- ②安塚南部地区の雨水排水対策について

■ 玉田 秀夫 議員

- ①平成24年度の予算編成について町長の考えを質す

■ 河野辺恒雄 議員

- ①新エネルギーメガソーラー計画について
- ②羽生田産業団地の状況について

■ 小牧 敦子 議員

- ①子宮頸がんワクチン接種事業について
- ②魅力ある行政サービスを望む

■ 小貫 暁 議員

- ①今後の六美地域整備事業について問う
- ②介護保険事業計画について問う

一 般 質 問



議会だよりホームページへ掲載

壬生町ホームページ › 議会の紹介 › 議会だより
にてご覧になれます。

災

害対策の今後の対応は

町長 安全安心住民生活に努めます



落合 誠記 議員

3・11を教訓に

問 災害時の食料等の備蓄・供給体制は。

町長 備蓄する経費の削減や、常備消防で管理することによる確実な供給が図られたところですが。

問 防災協定等、他自治体との連携は。

町長 栃木県央都市圏市町との災害時における複数の応援協定を結んでおります。

問 放射能測定の徹底を。

町長 壬生町放射線量測定器貸し出し要領を定め対応しております。

問 除染の計画は。

町長 今後、検出された場合は速やかに対応していく考えです。

子ども議会に学べ

問 町立図書館の現状は。

教育長 本町の蔵書冊数17万4000冊、図書館費全体では6年間ほぼ同額の予算を確保しております。

問 旧勤労青少年ホームの図書館への改修や、「矢祭もったいない図書館」で行われている図書寄贈募集の考えは。

教育長 公民館等の施設を活用していく形ができないか今後検討致します。図書寄贈も広く呼びかけて、収集を考えております。

問 「フレスポおもちゃのまち」計画の詳細は。

町長 小売業者は4社、関連店舗として飲食店が1社、合計5店舗でございます。

問 “ガンダム通り”事業等、まちづくりの見解を伺う。

町長 施設整備や財政支援だけでは、地域活性化は困難であると考えます。

福祉施設を有効に

問 災害時の障がい者の避難場所の指定や、避難情報の提供は十分か。

民生部長 福祉避難施設として、必要に応じて開設することになります。民生委員さんが直接訪問、安否確認、情報提供を行うようになっております。

問 放課後支援&デイサービスをどう考えているか。

民生部長 ドリームキッズでは、小学生を対象に児童デイサービス事業を提供しております。



全国から寄贈された4万5千冊を所蔵する「矢祭もったいない図書館」(福島県矢祭町)

羽

生田産業団地のトップセールスと住みよい町づくりを

町長 積極的な企業誘致活動を推進します



赤羽根 信行 議員

問 工業用水確保に向けて、現時点での動向は。

町長 現在、上水道・地下水合計2000トンの水量が確保されており。また、県が聖地公園内において地下水調査をしており、今年度中に結果が出る見込みです。

安全な通学道路の整備促進を

問 羽生田上蒲生線の進捗状況は。

建設部長 県や県議会に要望を行った結果、バイパス整備とともに、引き続き用地交渉に努めることを聞いております。

みぶ羽生田産業団地企業誘致に向けて

問 現在までの進捗状況は。

町長 第2調整池整備工事が24年1月末完了予定、県道羽生田・鶴田線の整備工事は3月末、第1期分譲に係る区域の緑地植栽工事及び団地内区画道路工事及び宅盤造成工事は10月末が完成予定と伺っています。

町の上下水道整備事業は3月までに、配水管布施設工延長、消火栓11基の設置を予定しています。

土木事務所の羽生田・上蒲生線バイパス工事は来年度末までの開通宣言が出されています。

問 企業誘致に向けてセールス、アピールはどのようにしているか。

町長 産業団地現地見学会や企業誘致促進協議会でのPR、東京や大阪での展示会の他、11月現在15社の企業訪問を行う等、PRの拡大をはかっております。

問 自転車専用レーンを含めて今後の道路整備計画は。

建設部長 県警や県との連携を図りながら、自転車走行環境の確立に向け、努めてまいります。



途切れて整備が待たれる通学道路

ス

スポーツで元気なまちづくりを

教育長 健康で明るい活力あるまちづくりを



中川 芳夫 議員

町のスポーツ振興

問 町長のスポーツ振興に対する姿勢、考えとキャッチフレーズを問う。

教育長 生涯スポーツの普及を推進するため、指導者などの人材の育成と確保に努め、スポーツへの参加機会の拡大のため、各種大会を実施するとともに、総合型スポーツクラブへの継続的な運営支援を行っておるところです。

当町のキャッチフレーズは、「生涯スポーツのまちをめざして」でございます。

世代をこえて、いつまでも気軽にスポーツを楽しみ、健康で明るい活力あるまちづくりを目指していくことを考えております。

い活力あるまちづくりを目指していくことを考えております。

問 町内対抗野球大会への参加チームが年々減少しています。学童野球も部員数の減少でチーム編成に苦慮しています。町としての対応、対策は考えていますか。

教育長 野球人口の減少や、学童野球の運営に対する改善などへの取り組みを、連携を図りながら対応してまいりたいと考えております。

う。20年を経ても一向に進展のない安塚南部地区の雨水排水整備の早期着工を求める。

上下水道部長 市街化調整区域及び県道宇都宮・栃木線の集水区域の雨水排水を目的として、浸水対策の有効な手段として必要性が高いものと判断しております。雨水排水の整備に当たりましては、下水道の全体事業を精査した上で検討してまいります。

安塚南部地域の雨水排水対策は

問 北部第3雨水幹線の目的と必要性を問



熱戦が繰り広げられる町内対抗野球大会

都

市計画税廃止に向けての計画は

町長 平成24年度に税率の半減に向けて改正します



玉田 秀夫 議員

平成24年度予算 編成について町 長の考えは

問 都市計画税を段階的に減額する割合、そのための財源の確保は。

町長 平成24年度に、現行税率の0.27%を半減の0.13%に改正したいと思います。24年度につきましては、ハイウエーパーク等の使用料の見直し、自販

機の入札制度に取り組みたいと思います。

問 行財政改革が一段と叫ばれています。どのような観点で行うのですか。

町長 事業手法の見直しや自主財源の確保など、歳出歳入にわたる徹底した見直しにより、財源の効率的・重点的な配分を進める必要があります。

問 高齢者や子育て世代などへの福祉予算、将来を担う子供などへの教育費は、どのような特色を持たせるのか。

町長 生きがいづくりや介護予防、生活支援などの充実、ボランティア活動への取り組み、感染症対策。子育て関連は子育て家庭への応援、地域育成環境、一人親の支援、児童養育環境の充実に努めてまいります。

問 中小企業経営は厳しい状況です。対策と取り組みを問う。

町長 運転資金の供給を促進し、経営安定を図るため、融資対象者の拡充、対象要件の緩和、景気対策応援資金保証料の全額補助を实

施しています。今後も引き続き実施していきたいと思えます。



2年目に入る基本計画



ガソローラー施設の設置を

町長候補地探しを継続します



河野辺 恒雄 議員

探っていききたいと考えています。

羽生田産業団地の 予約状況を問う

問 国内企業の空洞化が目立っている現状である。県の優遇制度、町の優遇制度を活用し積極的な誘致活動が必要ではないでしょうか。

経済部長 みぶ羽生田

産業団地の現在状況ですが、平成24年12月から第1期分5区画の分譲が予定されており、単価の公表、予約分譲の受付も開始されました。町では壬生町羽生田地区産業団地企業誘導検討委員会を設置し、県産業政策課及び県企業局と協力しながら、誘致活動を推進しているところですが、現在のところ分譲の予

約に至ったとの情報はありません。

円高のため、企業の海外進出による国内企業の空洞化が進んでいますが、企業はトータル的なコストにより進出地を決定しており、産業団地の安全性、交通アクセスの優位性だけでは、当産業団地への誘致は難しいと考えております。

しかしながら、国では、国内企業の空洞化対策として、平成23年第3次補正予算により、国内企業立地推進事業補助金を創設しました。当町としても、県と連携・協力を図り、企業の動向をリサーチし、産業団地の強み、優位性をアピールすることにより、早期の企業立地を目指していきます。

新エネルギーメガソーラー計画を問う

問 福島第一原発事故以来、脱原発がある。

自然エネルギーには小水力、風力、太陽光発電がある。本県は冬季の日照時間も長く、導入には好条件である。当町でも適切な場所を選定し、設置を考えて戴きたい。

町長 県においては、とちぎサンシャインプ

ロジェクトに基づき、

メガソーラー（大規模太陽光発電所）の候補地を募集し、平成23年11月9日現在の事業用候補地リストを公表したところですが、当町では立地条件に見合う場所が無く、申請もありませんでした。ただその後、民有地で1件募集条項に見合う場所があり、町を通じ申請をしたところですが、今後も引き続き候補地を



風力発電のある事業所

子

宮頸がんワクチンの品薄、今後の救済策は

民生部長 個別通知により、今年度中に接種完了予定です



小牧 敦子 議員

子宮頸がんワクチン 接種事業について

問 薬剤不足によって接種が完了できない方への救済は。

民生部長 医師会とも協議しながら、予防接種の再開、方法について個別通知によりお知らせしております。

問 欠かすことのできない接種についての説明は対象児・保護者に対し充分か。

民生部長 保護者向けにパンフレットを学校を通じて配布しており、養護教諭部会においては、子宮頸がん予防ワクチンの事業内容を説明し、学校においても、本人、保護者からの質問等に対応しております。

魅力ある行政サービスを望む

問 財政健全化による定員適正化は外部への業務委託やボランティアの活用が不可欠である。本町の現状は。

総務部長 民間にできることは民間に基本としながら、ごみ収集運搬業務や学校給食業務など外部委託の推進をはじめ、公共施設における指定管理者制度の導入を図っております。総体的に定員適正化の数値目標を十分に達成しながらも、一般行政職における職員数の確保にも努め、業務の負担軽減が図られていると考えております。

問 著名人の講演会が特定の年齢層向けになつていないか。事業が発展性のある企画にできないか。

教育次長 今後も、後援会型、シンポジウム型、参加体験型など多様な学習スタイルをバランスよく取り入れ充実させて参りたいと思います。



多くの住民ボランティアによって支えられた 公民館まつり。まちづくりに欠かせない住民パワー。

六

美地区の雨水排水工事の進行は

町長 都市再生整備計画書に盛り込んでまいります



小 貫 暁 議員

六美地区住環境整備は

問 道路、雨水排水工事は北部区域に移るが、計画どおり進行するか。

町長 地域特性を生かした協働の町づくりの整備方法を検討し、その効果を十分に検証した上で、現在進めている都市再生整備計画書の中に盛り込んでまいりたいと考えております。

問 町営住宅の建て替えは、周辺整備として児童公園、公共施設の複合施設として計画せよ。

町長 福祉ゾーンや町営住宅の複合施設化などは自治会と町で組織する研究会で検討する中で、高齢者、障がい者や子どもに優しいまちづくりとして、可能であれば反映させていきたいと考えております。

問 調整区域の下水道化の見通しはいつか。

町長 処理区域の拡大、施設老朽化ということ、北部処理場を現在増強、更新工事を行っております。平成27年度には、地元の皆様と協議に入れることで進んでおります。

安心の介護保険事業に

問 来年度の制度改正によるサービス低下はするな。

民生部長 介護予防事業の充実を図ることとし、高齢者保健福祉施策の充実、生きがいづくり活動の推進にも支援を行うこととしていきます。

問 保険料負担は限界にきている。ため込みしている基金を保険料に充当し、引き下げこそすべきだ。

健康福祉課長 県への拠出金額は、約2,000万円程で今年度計画保険料の方に、拠出金の一定割合を戻しております。



更地となっている住宅跡

所管事務に関し、視察研修により調査研究を行ってきました。その内容について報告します。

議会運営委員会

長野県飯綱町の議会改革

長野県飯綱町

委員長 大島 菊夫
副委員長 高山 文雄
委員 榎井 聡
〃 玉田 秀夫
〃 小貫 暁
〃 佐藤 善光

飯綱町は、長野県の北部に位置する町で、2005年10月1日、上水内郡の牟礼村と三水村が合併して誕生しました。面積75.31km²、人口11,682人で山に囲まれ北国街道の宿場町として栄えた町で、特産品のリンゴ栽培でのプレミアムリングオナー制度、スキー場などの観光施設があります。3年間の決算規模は、概ね60億円から70億円です。

飯綱町の議会改革への取り組みには、第3セクター「飯綱リゾート開発(株)」の経営破綻による町の8億円の債権放棄問題が起き、議会のこれまでの対応や議決責任も含め、厳しい批判、



意見が寄せられたのが大きい。その後、議員活動に対し、町民は厳しい評価となり、議会改革に向けて町民アンケート調査を行いました。また、一般質問には1問1答方式を行い緊張感も高まり、町長にも反問権を認めた。町民と議会との懇談会を行い広く町民の意見を聞く。議会の情報公開をさらに進める。議員同士の自由討議を活発に行う。町民との協働による政策づくりにも努力する。行政への批判と監視機能の強化、政務調査費を条例化し政策研究、町民への広報活動等に活用することなどを行う飯綱町議会改革の取り組みを参考にし、今後の壬生町議会活動に活かしていきたいと思えます。

議会広報特別委員会

読みたくなる紙面づくりに配慮

長野県軽井沢町

委員長 榎井 聡
副委員長 田村 正敏
委員 赤羽根信行
〃 坂田 昇一
〃 小牧 敦子

今回の議会広報特別委員会の研修は、長野県の軽井沢町議会において研修してまいりました。現在の広報委員会のメンバーとしては、2回目であり最後の研修となりました。

人口19,213人、世帯数8,639戸の町であり、「議会だより」の、配布については、「議会加入者が少ないため、朝刊の新聞折り込みにより全戸に配布する方法をとっております。定例会後の4月・10月・1月は、6,200部発行、7月のみ別荘利用者が増えるため、9,200部発行しております。

紙面づくりにおいては、標準的なレイアウトは、見出し20%、本文40%、写真20%、白地20%、また、漢字の使用率は30%以下にし、



なるべく「ひらがな」を使用し、紙面の印象を柔らかくし、バランスのとれた読みやすい、「議会だより」作成に取り組んでおり、毎号ページ数は16ページを基本としております。また、年1回軽井沢町議会誌を発行し全戸に配布しております。

今回の研修を通じて、読みやすい紙面、わかりやすい文書・用語、写真等を活用し、議会と住民とをつなぐための、情報発信の広報紙づくりに一層の努力をしてまいります。

議会への請願(陳情)の出し方

皆さんからの要望を町政に反映させる方法として、請願書・陳情書の提出があります。

提出にあたっては、次の事項に注意し、右の記載例を参考にしてください。

◆請願書・陳情書には、要旨と理由・要望事項を簡潔かつ具体的に書いてください。

◆請願書は、1人以上の紹介議員が必要です。

◆道路改良等の場合は、案内図・略図等を添付してください。

◆請願書・陳情書は、なるべく議会運営委員会(定例議会開会の約10日前)までに提出してください。

※詳細は下記へお問合せ下さい

壬生町議会事務局
TEL 0282-81-1865

請願(陳情)書の記載例

〇〇〇〇〇に関する請願書(陳情書)

紹介議員 氏名 □□□□ 印

- 1 請願(陳情)の要旨
(請願・陳情しようとする内容を簡潔に、分かりやすく書く)
- 2 請願(陳情)の理由及び要望事項
(請願・陳情しようとする理由・要望事項を具体的に書く)

平成 年 月 日

壬生町議会議長 様
請願(陳情)者

住所
氏名
電話番号

(法人・団体等の場合は名称と代表者名)

※陳情書の場合は、紹介議員は必要ありません



壬生町議会会議録の 閲覧・検索が一発OK!!

閲覧・検索は、壬生町の公式ホームページ
または下のアドレスからアクセスしてください。

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/mibu/mibu.html>

あなたも議会を傍聴してみませんか

特に事前申し込みは必要ありません



次の定例会は

3月2日(金)からの予定です。

一般質問をする議員、質問内容や質問順序等は、開催日近くに

壬生町ホームページ 議会の紹介 傍聴の案内にてご覧になれます。



京都府精華町議会議員が来町

10月24日、精華町議会住民派の会議員の皆さんが、会派の調査研究で本町議会を訪れ、議会活性化（議員定数削減における議会運営等）について、熱心に意見交換を行いました。

表紙写真の説明

朝日を浴びる上長田の伝統行事どんと焼きのやぐら。東日本大震災から間もなく1年が経とうとしています。多くの犠牲と引きかえに、私たちは命の尊さ・家族の絆の大切さを再認識しました。平成24年度は穏やかで明るい年でありませうとお祈りいたします。

小牧敦子

希望の光を浴びて



朝日新聞社編集委員 星 浩氏の講演

議員研修会に参加

10月11日、県町村議会議長会主催の議員研修会が宇都宮市で開催され、県内の町議会議員が参加しました。

研修会では、朝日新聞社編集委員 星 浩氏の「日本政治の課題について」及び、経済ジャーナリスト 須田慎一郎氏の「震災復興と日本経済の行方」と題する講演があり、現状問題や今後の行方など熱心に研修しました。



高塚 猛氏の講演

議員全体研修会に参加

11月9日下都賀郡町村議会議長会主催の研修会が栃木市内のホテルを会場に開催され、郡内の町議会議員41名が参加しました。

研修会では、福岡ドームの観客数パリーグ新記録を実現させ、わずか2年で赤字経営を黒字経営にするなど「平成の再建請負人」「人を集める仕掛け人」と話題になった高塚 猛氏の講演で「変革について」と、市町村アカデミー客員教授の大塚康男氏の「議会人の危機管理」と題する講演があり、熱心に研修しました。



議会広報特別委員会

- 委員長 榆井 聡
- 副委員長 田村 正敏
- 委員 赤羽根信行
- ” 坂田 昇一
- ” 小牧 敦子

編集後記



昨年の一年の世相を表す「今年の漢字」は「絆」の文字でした。言うまでもなく東日本大震災等の災害が国内外で続き、人の繋がりの大切さを改めて感じたことが主な理由でしょう。

そもそも「絆」は「思いやり」や「お互い様」といったものと同様、人と人が交わる場所に当たり前に存在していたはずでした。しかし行き過ぎた個の尊重から、そういった地域の繋がりが薄れつつあった今、本当の幸せや地域の安全の為に何が必要かを再認識した結果、この「絆」の文字に多くの人が共感したのだと思います。

年が明けても地域と人との「絆」を大切に、前を向いて進んでいきたいものです。

(田村正敏 記)

